

別紙 2

教職員の時間外在校等時間縮減に効果の高い学校の取組状況調査表

市町村名・学校名	水戸市・水戸市立第四中学校
----------	---------------

1 時間外在校等時間の状況（教職員の平均値）

区分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
小学校							
中学校	23:52	30:26	26:26	48:28	46:32	43:02	31:03

2 学校が主体的に実施する効果が高い取組の概要

【学校業務の削減・縮減に関する取組】

○会議資料のペーパーレス化し、事前にデータ送信し内容検討の時間を削減した。
 ○学期末や校内定期テスト期間に5時間授業を導入し、事務処理時間が確保できて時間外勤務時間の削減につながる。
 ・学期末事務処理（7月6、7、8、13、14日）・総合体育大会（6月15、16、17日）・新人戦期間（10月26、27、28日）
 ○夏季活動期間（5～9月）における部活動終了時刻を30分短縮する。生徒の下校時間が早まり、残務整理の時間短縮に繋がった。
 ○部活動の複数顧問制を実施した。（教諭+講師合わせて45人）平日、休日練習とも2人顧問（副顧問の重複なし）で交互に指導に当たるため放課後や休日の勤務時間が短縮できた。

【教職員の意識改革に関する取組】

○単に勤務時間を削減するというだけでなく、ワークライフバランスを整えることが、教師一人一人の心身の健康を充実させ元気な状態で生徒と向き合うことにつながり好循環につながることをメンタルヘルス研修等で意識させている。
 ○教師一人一人が、年度初めの教員評価面談で、管理職とともに業務の優先順位を考えられるよう助言した。
 ○部活動の休日練習時間を3時間までにし、部活動顧問に必ずしも長時間の練習が技能向上へつながるものでないことを意識させた。

【その他時間外の原因分析・解消に関する取組】

○給食費の公会計化（水戸市全体での実施事項）
 教頭、事務職員の督促にかかる時間や担任の保護者への電話対応の時間が無くなった。
 ○校務運営システムC4t hの運用（水戸市全体）
 出席簿や指導要録、通信表のデータが一元化でき、それぞれの作成時間が短縮できた。
 市内学校間や教育委員会との文書のやり取りがスムーズになり時間短縮につながった。
 ○校外研修をリモートで実施（市教育委員会）
 移動時間を含め、会議時間の短縮ができた。